

デジタルチトランスデューサ

KA2B

計測項目(3点)……有効電力量、有効電力、電流(三相3線)

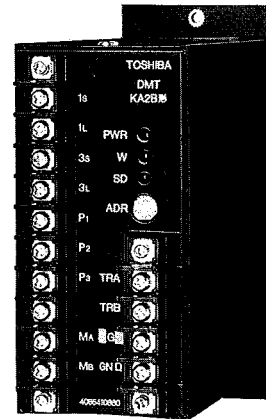
■概要

「デジタルチトランスデューサ」は回路の有効電力量、有効電力、電流を測定し、シリアル信号でデータを出力します。

■特長

- 複合機能形のため取付けスペースが節約できます。
- シリアル出力信号(RS485)のため配線が簡素化できます。
- 専用LSI使用により高信頼度です。
- 入力と出力はフォトカプラにより分離されています。

■仕様



項目	有効電力量	有効電力	電流(1s-1L)			
相線式	三相3線または単相2線または単相3線					
定格電圧	100または110または200V					
定格電流	/5Aまたは/1A					
定格周波数	50Hz/60Hz共用					
電源	定格電圧 AC100/110V、50/60Hz (電圧変動範囲 -10%~+10%)					
入力範囲	単相2線	100V、5A	0~0.6kWh	0~0.6kW	0.25~6 A	
		100V、1A	0~0.12kWh	0~0.12kW	0.05~1.2A	
		200V、5A	0~1.2kWh	0~1.2 kW	0.25~6 A	
		200V、1A	0~0.24kWh	0~0.24kW	0.05~1.2A	
	単相3線	100V、5A	0~1.2 kWh	0~1.2 kW	0.25~6 A	
		100V、1A	0~0.24kWh	0~0.24kW	0.05~1.2A	
		三相3線	110V、5A	0~1.2 kWh	0~1.2 kW	0.25~6 A
			110V、1A	0~0.24kWh	0~0.24kW	0.05~1.2A
	200V、5A		0~2.4kWh	0~2.4 kW	0.25~6 A	
	200V、1A		0~0.48kWh	0~0.48kW	0.05~1.2A	
許容差	*1 ±2.0%	±1.0%	*2 ±1.0%			
サンプリング時間	1秒/項目					
*3 応答時間	最大4秒					
絶縁耐圧	AC2000V					
負担	P1-P2 : 0.1VA P3-P2 : 0.1VA MA-MB : 4 VA 1s-1L : 0.2VA 3s-3L : 0.2VA					
通信方式	半二重通信方式					
伝送速度	19200bps					
伝送距離	1000m(Max)					
伝送回路特性	RS485					
動作温度範囲	-10~55°C					
構造	表面取付・前面接続					

注1) 有効電力量の許容差はJISC1216に準拠。誤差の算出方法は次式による。

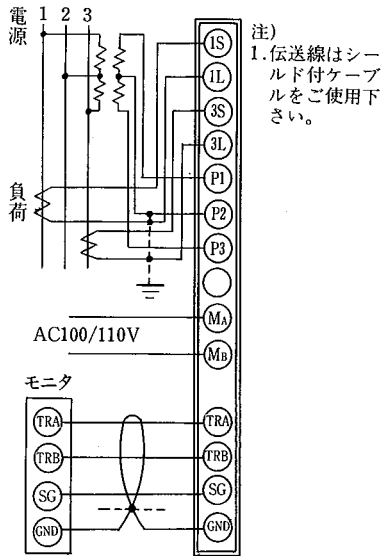
$$\text{誤差} = (\text{計量した電力量} - \text{真の電力量}) / \text{真の電力量}$$

注2) 電力、電流の許容差はJEMIS019に準拠。誤差の算出方法は次式による。

$$\text{誤差} = (\text{出力の真値} - \text{出力の規定値}) / \text{基底値}$$

注3) 応答時間とは定常出力値の1%に納まるまでのステップ応答時間を意味する。

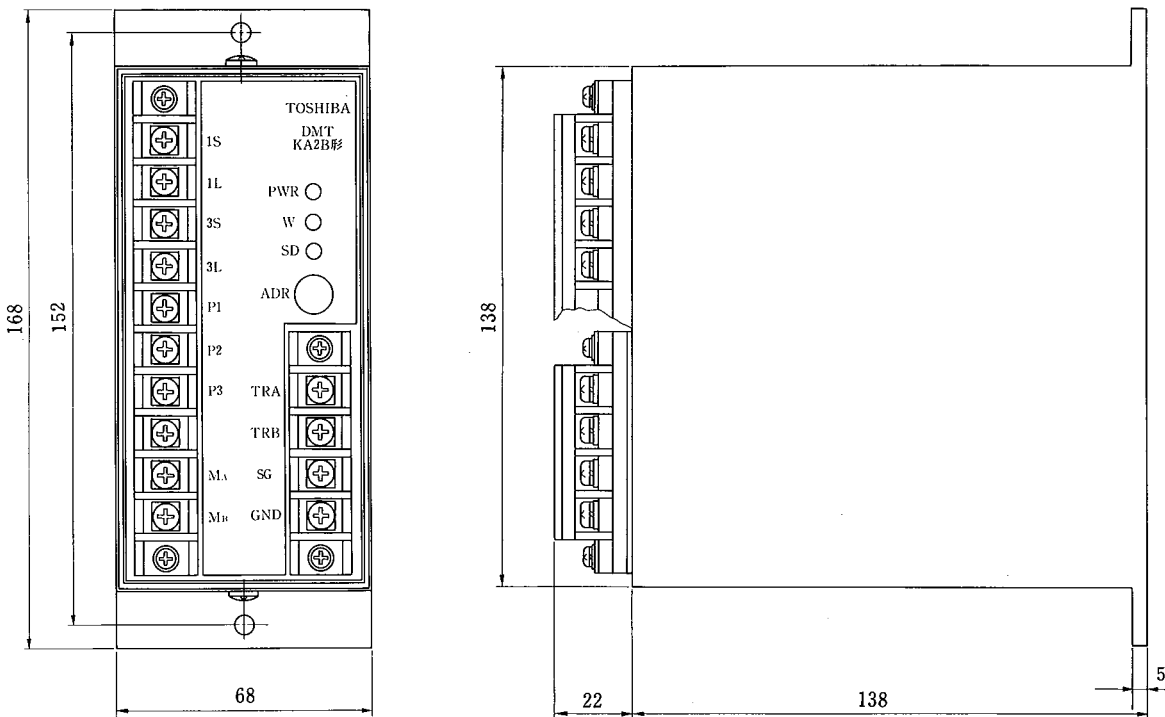
■ 接続図



■ ご注文の際は下記事項をご指定ください。

1. 形名
2. 相線式
3. 定格電圧
4. 定格電流

■ 外形寸法図



記載内容は、設計変更その他の理由により、変更させていただくことがあります。

'89. 1 (TU)初版
'89. 8 (TU)第2版